

地域に出る

神戸大学 ボランティアと社会貢献のススメ 2025



阪神・淡路大震災から30年続くボランティア



ボランティアのススメ みんなの声 2025



一步踏み出して
みると楽しいことが
待っています!

大自然で
子どもたちと
キャンプ!!

自分の好きなことで
誰かの役に立てるのが
うれしい!

色々な
国の人達と
交流しよう!

学生時代の
つながりは
未来の宝物

ボランティアも
いろいろな参加の
形がある!

地域の良さを
発見できます!

普通の大学では
出会えない体験が
できます。

地域に根差し、
人との触れ合いを
大切に

農家さんと楽しく
おしゃべりしながら
農ボラしませんか?

地域の人と関わることで
満たされる感じが
クセになる!

自分に合う
ボランティアを
探してみましょう!

目次

ボランティアのススメみんなの声2025	2
ボランティア団体紹介	
地域と歩む一阪神・淡路大震災からの30年	4
神戸大学の災害・復興ボランティア	
学生震災救援隊	
神大モダン・ドンチキ	
灘地域活動センター(N.A.C.)	
灘チャレンジ実行委員会	
地域の力となるボランティア	6
総合ボランティアセンター	
住之江児童館セクシオン	
とんかちセクシオン	
手話サークル ペんぺん草	
障がい者セクシオン	
阪神・淡路と東北の被災地をつなぐ	8
ボランティアバスプロジェクト	
大学生の災害語り継ぎ交流 神戸大学生×東北大学生	
社会貢献・チャリティ・文化復興支援	9
能登半島地震被災地へ想いと力を届けるボランティア	
混声合唱団アポロン	
神戸大学阪神・淡路大震災30年めの取組	10
神戸大学×神戸大学生×地域×企業×行政	11
神戸大学阪神・淡路大震災30年シンポジウム	12
いつでも子どもたちの笑顔に会いにいきます	14
兵庫県小児糖尿病サマーキャンプボランティア(CNF)	
児童文化研究会	
環境サークルえこふる	
摩耶のんびり自習室	
丹波篠山に出る	16
地域密着型サークルにしき恋	
国際農業サークルAGLOC	
多世代交流拠点サークルLuonto	
キャンパスは国際舞台・ボラカフェ2024春	18
留学生支援サークルTruss	
神戸大学ボランティア・社会貢献の取組	19
保健学研究科地域連携センターの取組	
国際化学研究科地域連携センターの取組	
神戸大学ホームカミングディ2024	20
神戸大学地域連携推進本部	
ボランティア支援部門の紹介	
授業「ボランティアと社会貢献活動 A・B」	21
ボランティア・社会貢献活動の支援	22
学生団体が受けている助成金2024	23
地域連携推進本部ボランティア支援部門	

日常では
出会えない人々との
関わり

地域の方々と関わっ
たりイベントを運営
したり、普段できな
い経験ができます!

手話を学んで社会
貢献しませんか?

子どもたちの反応が
何よりの楽しみで、
やりがいです!

ローカルな
出会いも、
グローバルな出
会いもあります!

ちょっとした行動が
誰かの力になれる!

大学がある神戸の
街がもっと好きに
なります!

地域とのつながりは、
きっとあなたの心の
支えになってくれるはず

まちの皆さんから
まちの良さや知らない
イベントを教えて
もらったりしています



神戸大学学生震災救援隊

私たち学生震災救援隊は、阪神・淡路大震災の救援活動をきっかけに生まれたボランティア団体です！最近では、能登半島地震の支援活動などを行っています。救援隊は災害派遣だけではなく地域のお祭りを運営したり、高齢の方と一緒にお茶会をしたり楽器を演奏したりと様々な活動を行っています。活動の幅が広いので、自分がやりたいこともきっと見つかるはず！



X (@Twitter) @Qentai
メンバー数 約50人
活動場所 神戸市各所、全国の被災地
設立 1995年1月23日



地域と歩む～ 阪神・ 神戸大学の災害・

日本で唯一のちんどん屋サークル。神戸を中心に関西各地のイベントで、ステージ演奏や練り歩きながらの賑やかをしています！音楽好きはもちろん大歓迎！楽器未経験でも始めやすい！毎週火・木曜日に学生会館で練習しています。ドンチキで、人と違う大学生活を送ってみませんか??



X (@Twitter) @modan_dontiki
Instagram @dontiki_chingdong
メンバー数 6人
活動場所 学生会館





淡路大震災からの30年 復興ボランティア



灘地域活動センター (N.A.C.)

毎週土曜日の午後、JR灘駅近くの2カ所の集合住宅(県営岩屋北町住宅・HAT神戸灘の浜)で集会所をお借りしてふれあい喫茶を開催しています。お茶やコーヒーとお菓子、そして地域の方同士や学生とのおしゃべりが楽しめる憩いの場になるよう、学生にできることを模索しながら活動しています。クリスマス会などの季節ごとのイベントも開催します。



- X(旧Twitter) @NAC_dayo
- Instagram nada_activity_center
- メンバー数 約10人
- 活動場所 JR灘駅近く(県営岩屋北町住宅、HAT神戸灘の浜)
- 連絡先 nada.activity.center@gmail.com
- 設立 1997年4月

灘チャレンジ実行委員会

灘チャレンジは阪神・淡路大震災の復興祭として始まったお祭りです。毎年学生が中心となり、地域の方々と協力して創り上げる灘チャレンジを通して「灘のまちづくりにチャレンジ」してきました。2024年度は9月に開催し、模擬店やステージ企画を通じて灘の温かさを感じていただけるお祭りになりました。

- H P <https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>
- X(旧Twitter) @Ncha_2024
- メンバー数 約35人
- 活動場所 鶴甲第一キャンパス、オンライン
- 設立 1995年6月4日

地域の力となるボランティア



▶ 神戸大学総合ボランティアセンター

阪神・淡路大震災をきっかけに、神戸大学生にボランティア活動にもっとふれてもらおう、という目的で設立されました。

現在は九つのセクションに分かれて活動しています。ボランティアの内容は子どもと遊ぶ、障がい者とお出かける、手話や点字を学ぶ、高齢者とお茶会でお話する、公園を掃除する、地域のお祭りをつくるなど様々です。また、地域から寄せられるボランティア依頼にも参加できます。



X(旧Twitter) @kuvc1995
メンバー数 143人
活動場所 神戸市を中心にセクション毎に展開
設立 1995年5月10日

一言で
「ボランティア」と
言ってもいろんな
ボランティアが!!

▶ 総合ボランティアセンター住之江児童館セクション

住之江児童館に来館している子供たちと遊ぶことが主な活動です。月に1回、トランプ大会やカレンダーづくり、ドミノ大会といった学生企画も行っています。子供たちに、大学生だからこそ提供できる活動を体験してもらえるように企画を考えています。また、夏祭りやハロウィン、クリスマス会などの季節行事もあります!



X(旧Twitter) @suminoe-kids
メンバー数 10人
活動場所 住之江児童館(東灘区)
生田川児童館(中央区)



▶ 総合ボランティアセンターとんかちセクション

とんかちセクションでは月に二回程度、「天井川公園を守る会」との協力のもと、天井川公園の清掃活動を行っています。地域のひとたちと関わりながら、花壇の整備や落ち葉の収集、草木への水やりなど、季節に応じて変化する公園に合わせて様々な作業をします。

X(旧Twitter) @ttton_kachiii
メンバー数 22人
活動場所 天井川公園(須磨区)
連絡先 soboratonkachi@gmail.com





▶ 手話サークル ペンペン草

楽しく手話を学びつつ、手話を通じたろう者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思い、活動しています。

ステージに立ち、パフォーマンスを披露することもあります！

手話経験・学年問わずいつでもメンバー募集中！

X(旧Twitter) @Pen_Pepepen
@penpenmyodani

メンバー数 30人

活動場所 【六甲台キャンパス】週2回/平日/対面・オンライン
【名谷キャンパス】週1回/平日/対面・オンライン
【合同活動】月2回程/休日/対面

連絡先 we.are.penpenkusa@gmail.com

神戸大学の入学式・卒業式、地域でのイベントで手話通訳を担っています。



なかなか関わる機会が
少ない方々と繋がり、
世界を広げることができます



▶ 総合ボランティアセンター障がい者セクション

イベントを通じて障がい者と交流したり地域で暮らしている方の介護に入ったりしています。活動を通して、障がい者が自分の望む地域生活を送るためのお手伝いをします。

メンバー数 8人

活動場所 神戸市各所、
えんぴつの家デイケアセンター他連携施設

阪神・淡路と東北の被災地をつなぐ



▶ 神戸大学ボランティアバスプロジェクト

東日本大震災を機に発足し、これまで60回以上、1,700名以上の学生とボランティア活動を行ってきました。現在は、①岩手県(東日本大地震被災地)と②神戸市長田区(阪神・淡路大震災被災地)③能登半島(令和6年能登半島地震被災地)で、A)地域づくりボランティア、B)震災伝承活動、C)災害復旧ボランティアを行っています!地域の方との繋がりの中でボランティアしたい方、伝承活動に興味のある方、是非一緒に活動しましょう!

H P <https://ku-tono.amebaownd.com/>
P <https://ameblo.jp/ku-tono/>
Instagram @tohokuborabasu(メイン)

メンバー数

5人

活動場所

神戸市灘区、長田区、岩手県、宮城県、能登半島

連絡先

ku.tohoku@gmail.com

設立

2011年4月30日

メール、Instagram
までお願いします!



大学生の災害語り継ぎ交流 神戸大学生×東北大学生

阪神・淡路大震災、東日本大震災被災地で活動する大学生が、相互の活動場所を訪問、取組みを体験し、意見交換を通じて理解を深めています。



東北大学生・災害の語り継ぎ
(石巻市震災遺構大川小学校)



阪神・淡路大震災を伝える神戸大学生
(せんだいメディアテーク)



神戸大学生・災害の語り継ぎ
(神戸市長田区・大國公園)



神戸大学生×東北大学生×関西学院大学生×神戸学院
大学生×慶応大学院生×灘高校生×若者のセッション
[未来セッション]第10回全国被災地語り部
シンポジウム in 阪神・淡路
(ホテルオークラ神戸)

神戸大学ボランティアバスプロジェクト×東北大学SCRUM震災伝承・防災部

社会貢献・チャリティ・文化復興支援



能登半島地震被災地へ想いと力を届けるボランティア



神戸大学生による能登半島地震 復旧・復興 災害ボランティア活動経費助成
神戸大学生の復旧・復興災害ボランティア活動を支援するため、個人に対する被災地までの交通費助成制度を2024年4月に新設しました。被災地自治体の災害ボランティアセンターを通じた活動をはじめ、ボランティアのために全国から被災地に参集した社会人、学生同士の出会いの場、交流の機会にも繋がっています。（神戸大学基金支援）



30年前に震災を経験した神戸の大学生である私たちだからこそ、できることがあります。

▶ 神戸大学混声合唱団アポロン

1948年に「御影混声合唱団」として創団した70年以上の歴史を持つ神戸大学公認の混声合唱団です。週3回学内施設や近隣の公民館等で練習しています。毎年12月には活動の集大成として定期演奏会を開催しています。その他、大学行事や地域の合唱イベントに参加したり、関西の連盟組織に所属したりして、合唱文化の維持継承、および演奏を通じた地域交流支援活動を行っています。

H	P	https://kobe-apollon.jimdofree.com/
X(BTwitter)		https://twitter.com/kobe_apollon
Instagram		https://www.instagram.com/kobe_apollon/
YouTube		https://www.youtube.com/channel/UC-SQo1kXkVei4GNZf52mhIA
メンバー数		約30人
活動場所		神戸大学内、神戸市・西宮市等近隣の公民館

神戸大学阪神・淡路大震災30年めの取組

阪神・淡路大震災 大学生の語り継ぎ

阪神・淡路大震災の激甚被災地神戸市長田区において神戸大学生が地域の方の話から学ぶとともに、語り継ぎを聞きに来てくださった方々に支えられながら活動に取り組んでいます。



語り継ぎ勉強会 2024年10月12日



「記憶を受け継ぐ
大学生の取組み」
2024年11月16日



こうべあいウォーク2025
2025年1月12日



「祈りをつなぐ」
2025年1月13日

ふたば学舎震災学習ラボ
エフエムわいわい
神戸まちづくり研究所
神戸大学ボランティアバスプロジェクト
神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門

長田区日吉町5丁目町内会とボランティア活動

阪神・淡路大震災慰霊祭 2025年1月17日



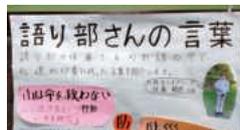
神戸大学ボランティアバスプロジェクト
Kobe Med Connect



地蔵盆 2024年8月23日



餅つき 2024年12月21日



報告会@ふたば学舎 2024年3月9日

1.17KOBEに灯りをinながた



阪神・淡路大震災追悼
2025年1月17日



2024年6月から翌
2月まで実行委員
会メンバーとして
準備、語り継ぎ活
動に取り組みました。

神戸大学ボランティアバスプロジェクト
神戸大学生有志
神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門

ボランティア・地域連携 神戸大学×神戸大学生×地域×企業×行政

神戸大学生災害ボランティアの展示



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

ふたば学舎



ALL HAT 2024



こうべあいウィーク2025
こうべまちづくり会館

ALL HAT 2024 第9回HAT神戸防災訓練



脇浜ふれあいのまちづくり協議会
なぎさふれあいのまちづくり協議会
日吉町5丁目町内会
JA共済連兵庫
神戸市危機管理室
神戸学院大学
神戸大学灘地域活動センター(N.A.C.)
神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門



つながりから広がる、地域防災の未来セミナー

第1回「能登半島地震から次の30年を考える」
2024年8月28日



第2回
「阪神・淡路大震災から30年
次に私たちができること」
2024年12月15日



第3回「みんなの避難の場～多様性と包摂性を考える」
2025年2月26日



一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム「採択プロジェクト「企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災」は、南海トラフ巨大地震等の未曾有の災害に備え、広域かつ多層的な地域防災の体制構築に向けて大学、企業、行政、住民が連携する取組みを目指しています。
プロジェクトメンバー大学：神戸大学（リーダー）、神戸学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、兵庫県立大学

JA共済連兵庫 ラジオ関西 阪神・淡路大震災30年メモリアル企画「ぼうさいげんさい川柳」への協力



神戸大学ボランティアバスプロジェクト



ALL HAT 2024 N.A.C.



まちづくり協議会 川柳教室

神戸大学阪神・淡路大震災30年シンポジウム

震災からの復興を振り返るとともに、未来に向けてこれからの取り組みを発信

「神戸大学阪神・淡路大震災30年シンポジウム」が1月11日、「神戸大学百年記念館 六甲ホール」で開催され、会場、オンライン合わせて約300人が参加した。神戸大学卒業生の坂本聡さん（NHK神戸放送局アナウンサー）が司会を務め、学生合唱「しあわせ運べるように」、基調講演、鼎談に続き、ボランティア活動をする現役の学生たちも登壇し、阪神・淡路大震災から繋げてきた活動や歴史、今後への思いを話しあった。

開催挨拶で藤澤正人学長は、附属病院でたまたま直勤務に就いていた地震発生当日からその後の避難所での医療活動を振り返った。さらに大きな被害を受けた神戸大学への支援に対して改めて感謝の意を表するとともに、引き続き災害に強いまちづくりのための研究と教育を進めていく決意を述べた。

「境界を越えて―実践的研究と教育の展開」と題した基調講演では、地域連携推進本部長の奥村弘理事・副学長が「災害現場の多様性とそこにある普遍性をしっかりとらえる学知が大切で、それを学内だけでなく社会で共有し、災害文化を形成して次に備える必要がある」と話した。また、神戸大学における実践研究の特徴として、震災の中心地にある大学として発生直後から日々対応を進め、復興段階においても市民と共に尽力してきたこと、1996年「都市安全研究センター」を設置し、多様性を持つ総合的な分野で地域の再生に実直に取り組んできたこと、研究を基に東日本大震災でも大きな役割を果たしたこと、災害の記憶を継承していくために資料を体系的に保存し「震災文庫」で公開していることを挙げた。今後については「広く国内外に発信し、現代日本の総合的課題ととらえ、組織的な教育体制の確立を目指したい」とした。

続いて、卒業生2人と奥村理事の鼎談が行われた。元NHKアナウンサー住田功一・大阪芸術大学教授は、東京から帰省中に震災に遭遇し現場からの中継に携わることになり、それが伝え手としての大きな転換点となったという。亡くなられた神戸大生のご遺族とずっと交流を続けている住田さんは「一人

一人の死に向き合うことが大切。そこから新たに学んだことを語り継ぎ、語り直す時がきている」と思いを馳せた。

卒業2年後に神戸を離れた直後、震災が起きたという映画監督・脚本家の安田真奈さんは、亡くなった映画サークルの後輩の追悼上映会を振り返った。当時は「なんでこんなことに」という思いが押し寄せてきて冷静に考えることができなかったが、時間が過ぎるにつれ、災害を客観的にとらえて防災を考えることができるようになったという。「今日の参加者の皆さん一人一人が防災リーダーになる」という意気込みで取り組んでほしい」と力を込めた。地域連携推進本部ボランティア支援部門長の山地久美子特命准教授から、震災と同時に誕生した神戸大学災害ボランティア活動の経緯と現在の状況、大学のボランティア・社会貢献活動への支援などが紹介された。学生ボランティアを代表して、1995年に始まった神戸大学学生震災救援隊と神戸大学総合ボランティアセンター、東日本大震災を機に始まった神戸大学ボランティアバスプロジェクト、昨年、能登半島地震の後、医学部生が活動を始めた「Kobe Med Connect」が登壇し、先輩から伝え聞いた設立時の想いや今の活動について発表した。山地准教授を交え、活動を通じて学んだことなど意見を交わすとともに、今後も活動に励み、来年の報告会での再会を約束した。

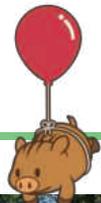
最後は、都市安全研究センターの近藤民代教授のまとめ、木戸良明理事・副学長の挨拶で神戸大学の次の取組みに向けて締めくくられた。

『月刊 神戸っ子』2025年3月号 vol.762



写真: 神戸大学提供

いつでも子どもたちの笑顔に会いにいきます



▶ 兵庫県小児糖尿病サマーキャンプボランティア(CNF)

1型糖尿病を持つ小中学生を対象としたサマーキャンプの企画・運営を行う医学部の学生ボランティア団体です。キャンプ中は、子どもたちが血糖管理をするサポートをしたり、運動会やキャンプファイヤーなどのイベントを企画したりと、大忙しで最高に楽しい! あっという間の4泊5日で大きく成長する子どもたちには毎年本当に感動させられます。大学生活にスパイスが欲しい神戸大学医学部医学科・保健学科の学生皆さん、ぜひお待ちしております♪

Instagram @cnf_dmcamp
メンバー数 36人
活動内容 4泊5日キャンプ(南但馬自然学校)
活動場所 神戸大学医学部附属病院・神戸市内施設
毎月第2日曜日ミーティング
キャンプ事前イベントや交流会の開催



地域の人たちの温かさに触れて、新しい魅力に気づきます!

▶ 神戸大学児童文化研究会

児童文化研究会(通称どうけん)は110年の歴史を持つ、子どもと触れ合う児童ボランティア団体です。保育園や児童館で人形劇を企画する人形劇グループ、公園遊びや遠足を企画する子ども会グループがあります。ほんわかとした雰囲気、グループを超え様々な企画に参加できるのが魅力です!たくさん子どもと関わる機会があります。人形劇をしてみたい人や子どもが好きな人、子どもと遊びたい人はぜひ見学や体験に来てください!

X(旧Twitter) @DOKEN01
Instagram @kobe_doken
メンバー数 23人(子ども会グループ14名、人形劇グループ9名)
活動場所 部室(六甲台第2キャンパスグラウンド横)
活動回数 週2回程度



▶ 環境サークルえこふる

神戸大学生や地域の人々の環境問題への意識を高めることや、環境問題に取り組みたい学生が活動できる場を設けることを目的に、日々活動しています。2024年度は、児童館にて食品ロスをテーマにしたオリジナルのかんたを使って出前授業を行い、廃棄予定の野菜などからつくられた「おやさいクレヨン」でも遊びました。子どもたちの反応が毎回大きくて、とてもやりがいがあって楽しいです!

H P <https://ecofullkobeuniv.wixsite.com/-site>
X(旧Twitter) @iRgFHqkxYMi8X5N
Instagram @ecofull_kobe
メンバー数 3人
活動場所 神戸市内の児童館、地域福祉センターなど



▶ 摩耶のんびり自習室

小中高校生を対象にした学習支援ボランティアを月に2回のペースで行っています。子どもたちにとって、たまに会える優しく安心してお兄ちゃんお姉ちゃんになればと思っています。のんびり喋ったり、たまに勉強をしたり、とにかく居心地のいい居場所を目指しています。映画会の開催や、地域のお料理教室や餅つき大会に参加したり、本当に自由にやっていますので、気軽にご連絡ください~!のんびり待ってます!

H P <https://www.nadaku-shakyo.org/news/entries/post438.html>
X(旧Twitter) @maya_nonnbiri
Instagram @nonbiri_mayatiku
活動状況 基本的に第1,3土曜日18:00~20:00の月2回
メンバー数 10人
活動場所 摩耶地域福祉センター
連絡先 nonbiriijisyusitu@gmail.com

神戸大学地域密着型サークルにしき恋

「食と農、都市と農村の架け橋になる」を目的とし、以下の活動を行っています。農業ボランティア：農作業の人手不足を補うとともに、学生が農業に関する知識・技術を向上させるために農家さんのお手伝いをしています。耕作放棄地（にしき恋farm）管理：田畑の管理を学生が主体的に行い、農産物の生産から販売までを実践しています。地域交流：地域の祭礼参加、学生主体のイベント実施等により地域活性化にも取り組んでいます。

H P <https://nishikioisasayama.wixsite.com/home>
X(旧Twitter) @nishikioi2013
Instagram @nishikioi.sasayama
メンバー数 150人
活動場所 丹波篠山市



丹波篠山に出る～ 地域に根差

神戸大学国際農業サークルAGLOC

農業と国際交流がテーマのサークルです！月1,2回ほど留学生と共に農業ボランティアを実施しています。また、地元イベントにも携わることができ、地域との距離の近さが味わえます。また、神戸大学国際交流課主催の留学生日本文化旅行にて観光の引率も担当しています。アットホームな雰囲気のサークルです！農業や国際交流に興味のある方はぜひ！

H P http://agloc.net/home_AGLOC.html
X(旧Twitter) @AglocKobe
Instagram @agloc.kobe
活動場所 丹波篠山市岡野地区
連絡先 agloc.kobe@gmail.com





多世代交流拠点サークルLuonto

2022年度に農学部 の授業から誕生。
アグリステーション丹波ささやまにて、多世代交流づくりを目標に活動しています。篠山での学生カフェ運営（現在準備中）とボランティア、六甲道の成徳小学校とのまちむら交流（稲刈り交流や、イベントへの参加）を軸に活動中です。DIYから料理、農作業まで幅広く動いています。少人数なので、色々挑戦しやすいところもルオントの魅力。美味しいものと自然にどっぷりつかりたい方、求む！

Instagram @luonto_kobe
メンバー数 35人
活動場所 アグリステーション丹波ささやま(丹波篠山市)
JR六甲道駅周辺

し、人との触れ合いを大切に



キャンパスは国際舞台



▶ 神戸大学留学生支援サークル Truss

Trussは神戸大学の留学生に楽しく充実した生活を送ってもらうために活動しています。月に1回程度、スポーツ大会やハロウィン、クリスマスといった季節ごとのパーティー、留学生にふるさとの料理を教えてもらうクッキングイベントなどで親睦を深めると同時に、希望者でペアや班を作っておこなう言語交流会を通して留学生の日本語学習のサポートも行っています。

H <https://truss-newhp.jimdofree.com/>
P @_trussstagram_
Instagram
メンバー数 150人
活動場所 神戸大学内 六甲道、三宮周辺

色々な国の人達と
交流しよう!



ボラカフェ2024春

5月21日・22日(新歓&交流会)

～ 神戸大学鶴甲第1キャンパス・学生ホール ～

【新歓】

2日間連続で開催し4つのキャンパスから学生が参加、いろいろなおしゃべりから交流が生まれました。ボラカフェを機に活動を始めたメンバーも沢山います。

【団体交流会】

1日めの学生団体の交流会では各団体の歴史や由来、活動の特徴などの紹介から始まり、世代交代や団体運営への質疑応答など、交流が活発に行われ、団体の相互の活動訪問や次回ボラカフェでの再会を約束していました。



“ボランティア・カフェ”は学内のボランティア・社会貢献活動に取組む団体・サークルが集まり、互いの活動紹介や交流と、新しいメンバーの参加の場です。

保健学研究科地域連携センター ボランティア・社会貢献の取組

ボランティアサークル「ちゃぼ」の活動について

「ちゃぼ」は、小学校に通っている病気をもつ子どもや心の悩みを抱える子どもと一緒に学習したり、会話や遊びを通して、子ども達が楽しく学校生活を送れるようにサポートするためのボランティアサークルです。また、極低出生体重児とご家族、発達が気になるお子さんとご家族の子育て支援教室でもボランティアを行っています。子育て教室では、お子さん向けの託児やご家族向けのプログラム、親子で参加する様々なイベントでボランティアスタッフとして活動しています。

お問い合わせ先 「ちゃぼ」
<https://www.ku-child-health-nursing.jp/pages/6778995/volunteer>
地域連携センターホームページ：
<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/fhs-renkei/>



国際文化学研究科地域連携センター ボランティア・社会貢献の取組

本センターでは観光とアートに力を入れて活動しています。国際文化学研究科は、国連世界観光機関が選定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」に認定された京都府南丹市美山町と北海道二セコ町の2地域と連携しており、それらの地域に学生がおもむき地域活性化に取り組むプログラムもあります。

神戸市長田区にある神戸映画資料館は、映画フィルムや映画に関する資料を保存に活用するフィルム・アーカイブですが、本センターでは毎年数名の学生を派遣し、資料館の映画上映会のお手伝いをしたり、映画チラシを整理するボランティア活動に参加したりしています。

HP <http://promis.cla.kobe-u.ac.jp/community-partnerships/>

写真：神戸映画資料館



神戸大学ホームカミングデイ

「振り返れば六甲の山並～あの頃の友に会いたい」を
 キャッチフレーズにはじまったホームカミングデイ
 ホームカミングデイ第18回 2024年10月26日(土)

卒業生・教員のイベント、学生
 や職員の発表、応援団総部演
 舞、学生企画の屋台や物品販
 売、特別展、各学部での企画な
 ど盛り沢山の内容で、卒業生同
 士の旧交を温めるとともに大学
 の活動を知っていただく日



医学部生の能登半島地震被災地
 ボランティア活動から災害、医療、
 地域の復興力の重要性を報告
 Kobe Med Connect

阪神・淡路大震災の語り継ぎ、東日本大
 震災の文化復興、能登半島地震の災害
 ボランティア活動について沢山の方が
 聞きにきていただきました。
 神戸大学ボランティアバスプロジェクト



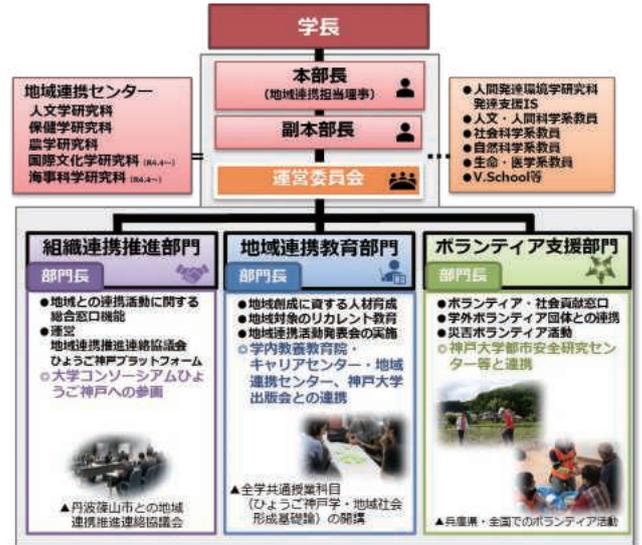
丹波篠山市西紀地区「にし恋
 farm」で猛暑の影響を受けな
 がら大切に大切に自ら育てた黒
 豆を販売しました。完売御礼。
 地域密着型サークル・にしき恋



神戸大学地域連携推進本部

地域連携推進本部は、大学全体として地域貢献に取り組むための窓口とな
 り、自治体と連携し、本学の人的・物的資源を活用し、個性豊かな地域社会
 の形成を支援するとともに地域の課題の解決を図り、地域の発展を支援す
 る地域連携事業を推進する組織です。

- ・地域との連携活動に関する対外的な窓口機能
- ・魅力ある地域づくりへの協力
- ・神戸大学と自治体との連携事業の推進
- ・神戸大学における地域連携の組織的な取り組みへの支援
- ・神戸大学地域連携推進連絡協議会の運営
- ・ボランティア・社会貢献活動への支援



ボランティアの語源はラテン語のVoluntas「自由意志」といわれています。

授業はオムニバス形式で、幅広い分野の教員、企業人、NPO関係者の講義です。詳しくは大学のシラバスを参照してください。

ボランティアと社会貢献活動(A) <第3クォーター>

教員、弁護士、企業人、NPO関係者など多様な講師陣によるオムニバスの座学講義。ボランティアと社会貢献は、今や特別な行動ではなく日常です。社会、あるいは大学生活の中でのボランティア活動や社会貢献の取組を多様な視点、アプローチで学びます。

災害・復興とボランティア
専門性とプロボノ・ボランティア
メディアと社会貢献
国際協力と社会貢献・フェアトレード
地域医療とボランティア
企業と社会貢献 CSR/CSV
農村ボランティアと住民参加
理論とまとめのワークショップ



ボランティアと社会貢献活動(A) 受講者の感想

- ・毎回講師が変わるので楽しみで仕方がない!
- ・こんな凄い人たちから話を聞けるとは思わなかった。お金稼ぎであったり、自分のためだけでなく、社会や他者のために活動している人が沢山いるのだとリアルに知れて嬉しかった。
- ・講義を受ける前よりもボランティアに対する視点が180度変わった。
- ・ボランティアをしてみたい気持ちになった。
- ・この授業での学びを将来的に生かせるようがんばりたいです。
- ・心のつながりを大切にしたり専門的なものが役立つと知ることができ、ためになりました。
- ・ボランティアの形がただの人助けだけでなく、経済的や技術的なものもあることを知り、自分の幅が広がった。
- ・ボランティアする側と、してもらう側の両方の面から考えることが多く、非常に興味深い授業でした。
- ・働きながら社会貢献できるという話が印象に残った。
- ・プロボノ、ボランティアやメディアができるボランティア等、知らなかった世界を知れたことは今後の自分の就職活動などに大きくかかわるだろうと感じた。

ボランティアと社会貢献活動(B) <第4クォーター>

地域でボランティア・社会貢献活動を実践している講師によるオムニバス講義を受けます。講義後、関心ある2つ以上のテーマを選び、そのテーマの実習日(あるいは希望日)に現場へ足を運び、ボランティア実習に取り組みます。

灘区のにぎわい 商店街・市場(座学)	テーマ①
農業ボランティアと地域(座学)	テーマ②
ユニバーサル社会と障がい者(座学)	テーマ③
● 実習回(第1回)テーマ①～③から選択	
阪神・淡路大震災、東日本大震災と多文化共生(座学)テーマ④	
地域に根付いたボランティア(座学)	
● 実習回(第2回)テーマ①～④から選択	
ボランティアと社会貢献 まとめのワークショップ	



ボランティアと社会貢献活動(B) 受講者の感想

- ・きっかけは単位取得のためだったが、ほかの授業とは全く違う構成で、普通はなかなか出来ない経験をするこが出来てよかった。
- ・抽選でこの授業を履修でき、これで単位が取れたら面白いと思い、実際、沢山の学びがありました。
- ・この授業が実習を含む唯一のものであったから。
- ・知らない分野での活動に興味を持った。
- ・人の役に立ってみたいと思い参加した。
- ・ボランティアに気軽に参加してみたいと感じ、ハードルが下がりました。
- ・ボランティアを硬いものと考えず「人とつながりを持つ機会」と捉え直すことで自主的に参加したいと考えることができる。
- ・1.17(阪神・淡路大震災事業)のボランティアは特に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・きっかけづくりが大切だと思う。
- ・やりがいの大きなボランティア、自分は人の温かさを感じるボランティアをやってみたいと思った。

ボランティア・社会貢献活動の支援

ボランティア支援部門

◎ ボランティア・社会貢献活動スタートのお手伝い

- ◎ 興味関心のあるテーマにあった活動やグループ・団体の紹介
どこから活動をスタートしたらいいかわからない、という方へ、学内外のボランティア活動、関係団体を紹介します。
- ◎ ボランティアグループ立ち上げなどへのアドバイス
仲間をつくって活動を始めたい方、案の実現に向けた企画書、規約づくり、助成金申請など支援します。
- ◎ ボランティア関連の情報発信
メールニュース、Facebook、Instagram、X(旧Twitter) SNSフォローしてください。学内外のボランティア情報や募集案内をお届けします。

- ◆ 災害ボランティア活動相談の仕組みがあります。連絡お待ちしています。
- ◆ ボランティア保険に加入しましょう！

◎ ボランティア・社会貢献活動団体への助成事業

- ☆「学生地域アクションプラン」(神戸大学生対象・教員申請)
地域社会と連携した学生の活動支援助成
- ☆「学生ボランティアサポート」(登録ボランティア団体)
学生団体を取り組むボランティア・社会貢献活動助成
- ☆「能登半島地震 復旧・復興 災害ボランティア活動経費助成」
学生個人が取り組む被災地での災害ボランティア活動にかかる交通費・宿泊費の助成
- ☆「地域連携事業」(神戸大学教職員対象)
教員が取り組む地域活性化や課題解決を目的とする事業助成

【授業】全学共通授業科目 1・2・3・4年対象(令和7年度)

ボランティアと社会貢献活動 A (第3クォーター・水 5限)
ボランティアと社会貢献活動 B (第4クォーター・水 5限)

ボランティアを始めたい／頑張っている活動の一層の展開を考えている学生・教職員の地域活動、社会貢献活動をお手伝いします。

◎ 神戸大学登録ボランティア団体の支援内容と活動のお手伝い

神戸大学学生ボランティア団体の活動支援を目的とした登録制度があります。
兵庫県内外で農業、災害、地域福祉、国際、多世代交流、学習支援など多様な分野で活躍する、20以上の学生団体が登録しています。
“ボラカフェ”(ボランティア団体の交流カフェ)や“新歓”(新入生歓迎会)を合同で開催したり、案内チラシの印刷やイベント時にカメラ・ビデオ、プロジェクター、テントほかの備品を貸し出したり、活動相談にも乗ります。

地域福祉、国際、多世代交流、学習支援、農業、災害など、多彩な分野で活躍する学生団体が登録しています。多様な支援メニューがあるので相談にきてください。(要事前予約)

- ◎ 団体運営の相談
仲間づくり／情報発信／会計処理／資金調達／世代交代など
「運営について考えたい」時などに声をかけてください。
- ◎ ミーティングルーム貸出
〔産官学連携本部棟4F／2F〕月1回／各団体
(原則:相談ください)
- ◎ 活動用機材の貸出
プロジェクター、スクリーン、ビデオカメラ
デジタルカメラ、オンラインカメラ
ワイアレスマイク・スピーカー、ICレコーダー(ほか)
- ◎ ボランティア活動資料作成の手伝い・印刷
イベント用の特大一文字なども印刷できます。
(要事前相談)

- ◎ 団体のイベント、研修会企画、会場や講師の紹介などの実施支援
- ◎ 各団体のイベント情報の発信(内容や希望に応じて)
地域連携推進本部ホームページにて各団体の紹介や活動取組を掲載します。



学生団体が受けている助成金

大学と連携したまちづくりチャレンジ事業補助金

(灘区)

長田区震災30年関連事業補助金

(長田区日吉町5丁目町内会)

能登半島地震・能登地方豪雨支援助成

(神戸市)

(丹波地域)学生等による地域貢献活動推進事業

(兵庫県丹波県民局、丹波篠山市)

ひょうご若者被災地応援プロジェクト

(ひょうごボランタリープラザ)

コープともしびボランティア振興財団

神戸大学育友会

神戸大学基金

学生地域アクションプラン

(神戸大学地域連携推進本部)

学生ボランティアサポート

(神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門)

地域に、社会に支えられる活動



神戸大学では学生・教職員のボランティア・社会貢献活動を支援しています。ボランティア・社会貢献に関心ある学生の活動スタートアップのサポート、ボランティア活動を受け入れる地域とのマッチングや、学生たちが主体的に取り組む多様なボランティア活動の現場に足を運んでいます。その上で学生・団体との意見交換を行うとともに、地域や自治体、社会福祉協議会、NPO関係者と連携を図りながら応援しています。「ボランティアと社会貢献活動(A)・(B)」では、社会で活躍するオムニバスの講師陣から実践と理論を学べます。

**ボランティア支援・相談：事前予約アポイント制です。
お気軽にどうぞ。**

神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門

事務担当：研究推進部 連携推進課

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

産官学連携本部 5階(六甲台 第2キャンパス)

TEL：078-803-5391 FAX：078-803-5389

Eメール：crsu-vol@office.kobe-u.ac.jp

地域連携推進本部ホームページ <https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/>



Facebook: @volunteerchiikikobeu

Instagram: @volunteerkobeu

X(旧Twitter): @kobeuvolunteer

本冊子は神戸大学基金の助成を受けています

